

1 本校の教育目標

自他の生命を尊ぶ人間尊重の精神を基調とし、変化の激しい社会の中で生徒一人一人が主体的・自主的に学べるような資質や能力を定着させる。また、人間関係が希薄になりつつある社会の中で、助け合い、思いやる共存共生の社会を構築する心豊かな人間を育成する。 そのために教育目標として、次の3点を掲げる。

- ・学び合う人
- ・思いやる人
- ・鍛え合う人

義務教育最後の3年間、自らの夢の実現に向けて、主体的に生き抜くことのできる力を育成し、社会の一員として社会に貢献できる次世代の担い手を育てる。

2 目指す学校像、生徒像、教師像

(1) 学校像

- ①1人1人の生徒に寄り添い、生徒の良さを伸ばし学力の向上・個々の生徒の進路実現を目指す学校
- ②保護者や地域から信頼され、生徒が安心安全に過ごせる学校
- ③社会の一員として生徒の社会への貢献力と規範意識が高められる学校
- ④地域の小学校との円滑な接続を目指し、9年間を見通した積極的な連携事業を進める学校

(2) 生徒像

- ①自らの夢の実現に向かって、課題意識をもち主体的に学びに向かう生徒
- ②自他のよさと違いを認め、自己肯定感を高め思いやりの心をもった生徒
- ③心身ともに健康な生徒

(3) 教師像

- ①誠実な心と正義感をもって生徒に寄り添い、豊かな心や強さ、温かさを伝える教師
- ②生徒の手本となり自らも学び続けることで自分自身を高め、学ぶ楽しさを教える教師
- ③保護者や地域の願いを受け止め、かかわりを大切にし、協力を惜しまない教師

3 重点的な取り組み事項

(1) 学力向上の推進

- ①基礎学力の向上
始業前15分の朝学習、放課後補充学習（抽出）、サマースクール、中1勉強合宿（通所型）
- ②授業改善
分かりやすく「主体的に学びに向かう力の育成」と「社会に生かせる学び」を目指した授業方法の工夫改善の推進
- ③読書活動の充実（朝読書、年3回の読書キャンペーン、昼休みの図書館開放、図書館利用の拡充）
- ④キャリア教育の充実（外部人材の活用、職場訪問、職場体験）

(2) 小中連携の推進

- ①児童・生徒の学力定着に向けた連携の実施
- ②連携を通じた指導力の向上
・2小学校と1中学校の3校でそれぞれ1回の研究授業（合同研究会）、
- ③小中連携による中1ギャップ解消への取り組み

(3) 生徒の健全育成と豊かな学習環境、安全・安心な学校づくり

- ①一人一人の生徒に居場所のある落ち着いた環境づくり
- ②安定した生活指導及び学習規律の構築
- ③あいさつの習慣化と感性を磨く学習環境の整備
- ④「いじめ0（早期発見、早期対応）」と「不登校0（生徒に寄り添った対応）」を目指す
- ⑤いのちの安全教育、性教育（都モデル授業）
- ⑥部活動（活動を通しての健全育成、部活動ガイドラインに沿った運営、外部人材の活用）

4 学習指導

- (1) 基礎・基本の定着を重視した指導
- (2) 授業の工夫改善「足立スタンダード」「わかる授業」「主体的に学びに向かう力の育成」「社会に生かせる学び」
- (3) 読書活動の充実（読書キャンペーン、図書館利用の拡充、各学年授業での図書館利用年10回以上）
- (4) あらゆる教育活動で発表活動を重視する。（伝える力と聞き取る力の育成、英語コミュニケーションスキル）

5 生活指導

- (1) 個々の生徒に寄り添った指導
- (2) 人権尊重の教育の推進
- (3) 基本的生活習慣、社会規範の定着
- (4) いのちの安全教育（性教育）
- (5) 不登校生徒への対応（関係機関との連携、別室指導）
- (6) 家庭・地域・諸機関との連携
- (7) 共通理解・共同実践
- (8) 社会に貢献できる心

6 進路指導

- (1) 個々の生徒の進路実現に向けた支援
- (2) 3年間を見通した系統的な進路指導、
- (3) 生涯学習社会への適応指導
- (4) キャリア教育の充実（自らの夢の実現に向け、主体的に生き抜くことのできる力の育成）

7 安全指導

- (1) 危機管理の徹底 施設・設備
- (2) 給食指導 衛生管理
- (3) 避難訓練の定着
- (4) 交通安全、情報モラル、薬物乱用防止などの指導

8 施設環境

- (1) 危険個所の点検と速やかな改修
- (2) 感染予防対策
- (3) 学校環境の美化 清掃活動
- (4) ゴミの少量化・分別の徹底

9 研修（人材育成）

- (1) 小中連携を通しての研究と実践
- (2) 研修計画（1人1回以上の研究授業の実施、年3回の一斉研究授業）
 - ① 学校として（「主体的に学びに向かう力の育成」「社会に生かせる学び」、わかる授業、道徳の授業の充実）
 - ② 個人として（学習指導力、生活指導力・進路指導力、外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力）
- (3) OJTによる人材育成、ミニ研修の実施（若手教員の育成）

10 服務

- (1) 信頼の確立 教育公務員としての自覚、服務事故（体罰、暴言、ハラスメント等）の防止
- (2) 迅速な報告・連絡・相談
- (3) 個人情報の適正な管理
- (4) 適性・迅速な予算の執行と私費の取り扱い
- (5) 教材・教具・備品の管理
- (6) 諸計画・諸帳簿等の整備と管理
- (7) 心理的安全性が保たれた職場づくり

11 PTA・地域活動

- (1) PTA活動への参加協力
- (2) 地域諸行事への協力
- (3) 開かれた学校づくり協議会との連携